レッスン：PYR 87

テーマ：星

PYR 87 KE08/No.12 7/5

私の姉妹・兄弟たちよ。

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

 レッスンのなかで14芒星は現在のパーソナリティーに、最初の転生から自己実現に到達する最後の転生まで付きそうと言いました。自己実現に到達するまでにどれほどの転生が必要になるかは誰もわかりません…なぜならそれは個人次第だからです。しかし一般に人々が考えるよりも多くの転生があることは確かです。

　もし、この地球上における人類の歴史が数百万年だとするなら…しかし2，3百万年ではなくもっと、数千万年かもしれませんが、その間Lifeは人間に体験を与えています。それは人間がやるべきことを達成し、何であれ聖なる、神の仕事を成就するためです。

　創造界におけるLifeの他の全ての現象は、人間が聖なる仕事を達成するのを助けることであり、それはモナドセルフが自己実現に到達することです…それはつまり創造界において他の全ての “私であること”とは異なる“私は私である”と言うことができるようになることです。結局、現在のパーソナリティーでさえLifeのスパークによって活性化されているので、全ての人間には人間として内側に神がいます…その人の気づきのレベルに関わりなく。神は全ての人の内側にあり、現在のパーソナリティーの目的は内側から神を現すことです；そしてこのことが全ての人間を尊重する理由の一つです。なぜなら、私たちが人間に向かい合う時、実際には神に向かい合っているからです…その時の相手の現れがどうあろうとも。現在のパーソナリティーは勿論Lifeの本質を現していないので、それが進化成長するプロセスにおける目的です…より高いレベルの気づきを現すことが。

　14芒星は、全ての人間が自己実現に到達する前に経験しなければならないそれら全てのステーション（＊段階）、経験を意味します。自己実現とは何でしょうか？自己実現とは現在のパーソナリティーが、何であれ現在のパーソナリティーの潜在的可能性の大きなサイクルから与えられたLifeからのものを現すようになる時のことです；それは現在のパーソナリティーがもはや二元性を現すことがなく、同調がコミュニケーションの手段になることです。

　このステートでは言葉も考え、思考も必要ではなく、現在のパーソナリティーには1つのセンターだけがあり、ノエティカル体とサイキカル体を使用する能力は維持します、なぜならその惑星上における他の人間達を助けるために3次元に留まるからです。その瞬間から後は、その現れは他の同胞の人間達のために奉仕し、転生のサイクルの中にとどまり、不可視のヘルパーとして他の人間のために奉仕します。

　ですから、自己実現に達した人の中で自分自身のために地球を去った人はだれもいません。

私たち全員はある特定の惑星上において一つに結びついているのです…他の人々が自己実現に達するのを助けるために、最後の一人さえも。そしてその時、その惑星は自己実現した惑星となるのです。そしてその後も引き続き他の惑星上の人々への奉仕を続けます…その惑星が私たちの太陽系、あるいは他の太陽系、あるいは様々な銀河系のなかにあろうとも。実際、もはや距離というものは存在せず、意味というものも存在しません。これが自己実現です；他の同胞の人間たちに助けを与えることができるようになります。自分自身を､特に転生してきた時には自分の肉体を他の同胞の人間のために十字架にかけることができるのです。

Page2

 14芒星の他に、創造界において様々な法則を意味する他の多くのシンボルがあります。最も重要なシンボルの一つは神、トリニティー（＊3つ組、三位一体）のステートにおける絶対存在であり…それは絶対英知、絶対善、そして絶対パワーです。そして勿論、このステートもまた全ての人のなかにあります。

　もう一つのシンボルは五芒星であり、それは元型である人間のイデアフォームを意味しますが、同時にそれは真の五感、また影の五感を意味します。真の五感はサイコノエティカル体が使用し、影の五感は現在のパーソナリティーが肉体に中で目覚めている時に使用します。しかし潜在意識的には、肉体のなかにいる時でもその人が思考、ファンタジーなどを現しているときには真の五感が使われています。

　勿論、やるべき努力とは、真の五感が使われる時に現在のパーソナリティーが実感できるそのステートを現すことです。もちろん、気づきが高まる結果として、3番目のサイクルにいる現在のパーソナリティーは、次第により意識的に真の五感を現すようになるでしょう。

　3番目のサイクルをマスターすることによって、現在のパーソナリティーは完全に意識的に真の五感を使えるようになり、“離れた所から”見たり、聞いたりすることその他ができるようになります；距離による影響を受けなくなります。3番目のサイクルをマスターすることによって、パーソナリティーは即座に最大の神秘、ミステリーの始まりに入り、それはロゴスご自身によって行われる火の洗礼です。

　パワーとか能力はテクニカルな手段の結果ではなく、Lifeの本質から来ます。そして、その時以降、パーソナリティーは同胞の人間達を今まで以上に助けることが可能となり；自分のエーテルの手、その他を投射することによって遠く離れた所から人々を助けることが可能となります。

　そしてパーソナリティーが4番目のサイクルのなかを進んで行くと、スピリチュアルヒーリングではなく、いわゆるサイキカルヒーリングが可能となります。それはつまり他の同胞の人間達の身体の内側で様々なアークエンジェルのオーダーと協力して働くということです。ですから、これが五芒星です。

　もちろん、7芒星もありますがそれに関しては私たちは触れません。なぜならその星は魂のセルフエピグノシスだけが使用するものだからです。

　この実存の波動におけるもう一つの星は六芒星です。六芒星は自己実現のステートを意味し、つまりキリスト意識と呼ばれるステートです。そして創造のセルである生命の木の上では、このシンボルは上から見て2番目の長方形に相当します。それはノエティックではなく、ノエティカル界の中です。それは四つのヘブン、つまり元型・イデアフォーム、法則、原因のヘブンです；そこではLifeは完全にLifeの本質を現しています。そこには他の全てのLifeの現象の元型を見いだすことができます…それはつまりアークエンジェルによる創造です。そこでは“全て”はパーフェクトであり；人間の無知による影響はまったくありません。そこにおけるLifeは全く同じであり、あるLifeのスパークと他のLifeのスパークの間に違いはありません。そこにはLifeの海があり、一つのスパークは海からの一滴です。それが私たちの内側にあり、それはLifeの海からの微細なスパークです。神は一つですが、多重性のステートにあり、無数ですが、しかし神は一つなのです。小さな神々と大きな神々があるわけではありません；海のなかの一滴の水は海それ自体と全く同じ質なのです。

　六芒星はキリスト意識を意味し、自己実現のステートであり、これを現している人は4つのヘブンである存在の諸世界には入りません。それは入れないからではなく、特定の惑星上における同胞の人間達を助けるためにそこに留まることを選択するからです。

　ですから、この世界を去って、ゴッドヘッドつまりテオーシス（＊神との再合一）に戻ったと主張する人の言うことは､真実ではありません。そこに到達した現在のパーソナリティーとして、私たちの間にいます…普通の人間として家族や子供達と共に暮らし、様々な地域などの中で生きています。彼等は自分の現れのレベルを高めることができ…気づきとはいいません…それによって他の同胞の人間と交流し、助けることができます。なぜなら、もし彼等が自己実現のステートを現すなら、他の人間たちをコミュニケートすることができないからです。

Page3

 ですから、存在の諸世界があり、それは元型であるイデアフォーム、諸法則と原因の諸世界であり、またそれは４つのヘブンです。そして３つの下のヘブンがあり、それは実存の諸世界です。より高い４つの世界は存在の諸世界であり、現在のパーソナリティーは実存の諸世界にいて、それはノエティカル、サイキカル及び物質界であり、現在のパーソナリティーは同時にこれら３つの世界にいますが、しかしこのサイコノエティカル界に気づいていません。

　現在のパーソナリティーとは何でしょうか？それは肉体ですか？答えはノーです。現在のパーソナリティーはサイコノエティカル体であり、それは考え及び気持の仕方であり、それを物質界で現すために肉体を使用します。もし現在のパーソナリティーがサイコノエティカル体だけを使用する場合、それは真の五感を使用することになります。ですから、真の五感は多くの可能性、多くのパワーを提供しますが、しかしディバインの仕事が達成されるためには、現在のパーソナリティーは４つのエレメントを使用して物質を身に纏う必要があります。

　私たちは惑星である地球と結びついています、なぜなら私たちは地球の４つのエレメントから構成されている肉体を使用するからです；そして肉体は聖霊的に築かれており、それはLifeの現れではありません。誰も現在のパーソナリティーを築くことはせず、それは現れであり、Lifeにより活性化されたものです。なぜなら現在のパーソナリティーはその内側にLifeがあるからです。現在のパーソナリティーは誕生しますが、それは母親のなかで聖霊的に築かれたものではありません。それは誕生するものであり、そして母親は実際に現在のパーソナリティーを誕生させるわけではありません。Lifeの誕生を与える唯一のもの、それは最も広大なヘブン(the Widest of Heavens)　であり、それはまた神であると言いましょう。

　ですから母親が出産するとき、それは実際には母親ではなく、Lifeに誕生を与えるのはShe（＊最も広大なヘブンである母）であり、Lifeによって活性化されたその現れを誕生させるのは彼女なのです。しかし同時に、Lifeは一つの現れとして彼女を通じて来ます。そうです、そのパーソナリティーの身体は築かれます；これら全てについて私たちは多くのレッスンで説明してきました。

　八芒星は私たちがアプローチ出来ない何かであり、自己実現した現在のパーソナリティーでさえアプローチできません。それは最も広大なヘブンを意味し、それは創造界それ自体の母である聖なる母を意味します。創造界は彼女を通じて、この特質を通じて現されるLifeの主な特質の一つです。それ以外の、その中で現されるもの全ては何であれLifeとして、彼女を通じて現れます。そして神の中で現れるという時、実際にはそれは創造界を意味します。

　それでは創造界とは何でしょうか？それはmovement（動き、活動）であり、何であれ創造界の中にあるものはこの終わりなきディバインの黙想の動き、活動の中に参加しているのです。

　この終わりなきディバインの黙想とは何でしょうか？Lifeがあるためには動きが必要であり、動きがなければLifeは存在しません。ですから神は動き、活動であり；そこには**動き(movement)、振動(oscillation)、波動(vibration)**があります;これらは絶対存在、神が持つ３つの主な特質です。ですからこの終わりなき活動が創造界であり、この何であれこの創造界のなかにあるものはこの活動に参加している粒子です。全ての天体、この動きの中にあるLifeの全ての現れ、この動きの中におけるLifeの全てのスパークは実際には決してアウタルキー（＊自足状態）を去ったことはなく、絶対存在のワンネスを去ったことはないのです。

　なぜこれら全てがあるのでしょうか？神はこれら全てが必要なのでしょうか？答えはノーです。しかし一度活動があると、そこには全ての結果があるのです。そしてこの結果が神にとって利益となるのでしょうか？神は何かが必要なのでしょうか？答えはノーです。それでは誰が利益、恩恵を受けるのでしょうか？なぜこれら全てのプロセスがあるのでしょうか？なぜ私たちはここにいて、これら全ての経験があるのでしょうか、私たちはそれらの経験を多くの場合、苦しみとさえ感じていますが、なぜそれすべてがあるのでしょうか？もし神が利益、恩恵を受けないのなら、誰が恩恵を受けるのでしょうか？この創造界の中、この動きの中に参加しているもの全て、それらはLifeの本質を制限あるなかで現しています。そのそれら全てとは誰でしょうか？それは人類、人間だけです。それ以外の全てはこの活動、動きの中に参加しているそれら全ての現れ（＊人類のこと）を益するためであり、神のためではありません。

　ですから、原因があり、結果があり、これは永遠に続きます、なぜならLifeは永遠だからです。永遠でないもの、それは現在のパーソナリティーであり、思考さえも永遠的な何かであるとされています。皆さんは過去のいかなる時代のどんな現在のパーソナリティーでも活性化させることができます；勿論、私たちはその出来事を変えることはできません。しかし誰かが自己実現に到達すると、その人は自分が過去に生きたどんな転生、過去生でも活性化することができます。

　一つ明確にすべきことがあります：エクソマトシス、つまり体外離脱は自己実現した人だけに生じます。そして自己実現した人だけがどんな過去生でも活性化させることができます。その人だけが自分は過去に存在していたと宣言することができるのです。なぜならその人は全ての過去の転生について語ることができるからです。なぜなら、各、全ての現在のパーソナリティーを活性化させるのはいわゆる永遠のアトムだからです。それは乗り物であり、内側にLifeのスパークがあり、全てのそれぞれの現在のパーソナリティーを転生させます。そして自己実現の時にはその乗り物は完全に再形成されたサイコノエティカル体と一つになります。ですから、それ以降は転生のサイクルに留まっていても、そのサイコノエティカル体はそれぞれの現在のパーソナリティーを転生させる永遠のアトムと一つになっています。

　自己実現していないのに体外離脱したと言う人、それは彼等が潜在意識の中に飛び込んだのです。汎宇宙的潜在意識は個人的潜在意識の中にあり、勿論その反対も言えます。そして彼等は肉体からサイコノエティカル体を切り離して体外離脱したというイリュージョンを抱いたのです。

　サイコノエティカル体は、もし完全に再形成されていなければLifeの知識、それを通じたLifeの本質に耐えることができません。説明しましたが、考えているのは脳ではなく、思考の動きを与えるノエティカル体です；脳は蓄積装置、充電されたバッテリーであり、それを通じて内側からいろいろなチャージが通過できるのです。それが実際の脳であり、肉体のないそのパーソナリティーにとって脳は必要ないのです。

　２次元および３次元のシンボルがあります；物質、肉体において使用される全ての法則は３次元としてのシンボルの方が現在のパーソナリティーにとってより役立つのです。しかしそれらのシンボルのベース、元は２次元です。そしていろいろなタイプのピラミッドがあります。

　四面ピラミッド、三面ピラミッド、五面ピラミッド、そして円錐つまり一面ピラミッドと呼ばれるものです。そしてそれら全ては法則を意味し、勿論、現在のパーソナリティーはそれらを使用して、マスターするよう努力すべきです。それら全ての法則は現在のパーソナリティーの様々なサイクルのなかに見いだすことでしょう。それら全てのシンボルは、それらをマスターしようとする努力のなかにおいてもより多くを与えてくれます。つまり、現在のパーソナリティーはそのような努力の過程においても、より高いレベルの気づきを現すようになるでしょう。

Ｑ：動き・振動・波動の違いを説明してくれますか？また動きがそれら３つをカバーするのか否かも。

Ｋ：動き、活動はそれら全てをカバーするように思えても、それらは皆異なっています。しかしそれを分析するのは不可能です。それは動きであり、それは一つの方向だけのものかもしれず；振動とは何か振動、揺れるものであり、同じ一つの原因からでさえも同時に様々な方向に振動します。しかしいずれにしても、これは貧しい説明です。それらは全てその中に動きがあるのですが、しかしそれら３つは異なった動きです。

Ｑ：意識的及び超意識的な真の五感の違いと体験とはどのようなものですか？

Ｋ：超意識的ステートにおける感覚は人間にとって有益です。なぜでしょうか？なぜならば最大の神秘である火の洗礼がすでに始まっており、現在のパーソナリティーはそこにあるものに関して超意識的になっているからです…たとえその人が実存の諸世界に関して、あるいは絶対Lifeに関して絶対的リアリティーの体験がなくても。なぜならそれは自己実現でそれが生じるからです。

　同じように、現在のパーソナリティーは実存の諸世界においてはアガピ、Lifeに到達することはできません。しかし、高いレベルのエロティズムには現在のパーソナリティーはどのレベルにおいても到達することができます。

Q：無数の魂のスパークは八芒星から来るのですか？

K：Lifeの全てのスパークは彼女を通過する必要があります。それはLifeの主な特質の一つから来る法則です。まず、それらは最初は皆同じ色です、その輝きは現在のパーソナリティーが自己実現した時それ自身の色を達成します…他の人の“私であること”とは異なる“私は私である”と言うことができた時に。

　スピリット・セルフモナドである最内奥のセルフは決してアウタルキーを去ることはありません；そして同じことが全ての人の内側におけるスパークにも言えます。なぜならアウタルキーはLifeの内側にあるからです。自己実現へのプロセスを経てきたそれらのスパークはそれを認識します。例えば、ミカエルのアークエンジェルのオーダー、それは一つのアークエンジェルとしての一つのミカエルではなく、それは無数のミカエルです。ですからもしあなたが一つのミカエルに“あなたは誰ですか？”と尋ねると、その答えは“複数のミカエルからの一つのミカエルではなく、私はミカエルです”という答えになることでしょう。ですから本質、質、その他においても違いはありません。

Page5

　これが自己実現した人が経験を通じて達成されるものです。彼等は個人性、名前を得ます。なぜなら、そのパーソナリティーはその人自身の経験の結果として、他とは異なった個人を現したからです。この創造界において…この小さな惑星だけでなく全ての諸宇宙を通じて…全く同じ体験を経てきた人、あるいは経ている人を２人見いだすことはできないでしょう。

　時間と空間の意味内における動きは全く異なるでしょう…全体的ではなくて詳細に至るまで異なります。これが自己実現がモナドセルフに、そして最終的にはスピリットに提供することです。一つの惑星全体が自己実現すると、その後は他の太陽系、銀河系その他に助けを与えるようになります…そして私たち全員はこの自己実現に入り、それを最初に魂のセルフエピグノシスに与え、その後にその魂は最内奥のセルフであるスピリットセルフに与え、そしてスピリットモナドセルフに与えるのです。そして説明したように、そのスピリットは自己実現したスピリットとして創造界において“やるべき”もう一つの役目を持つようになるでしょう。

　ですから、創造界におけるプロセスは果てしなく、終わりというものはありません､新しい銀河、新しい太陽系、その他。さて誰かが次のように言うかもしれません。“それはわかるが、しかし一つの太陽系あるいは一つの銀河系が自己実現するには数百万年どころか何十億年かかるのでは”と。Lifeにとって何十億年とは何でしょうか？それは一秒にさえ相当しません。私たちは思考を使用しているので時間を考えますが、思考は音や光のスピードと比べれば速いかもしれませんが、しかしLifeのスピードと比べると非常に遅いのです。Lifeは同時にあらゆるところにあり、ですから時間というものはありません；Lifeは永遠の今にあるのです。

　Lifeの特徴の一つはまた多重性です、もし空間という意味を考えるなら、人は同時に多くの場所にいることができるのです。そしてその唯一の理由は、勿論他の同胞の人間達に助けを与えることです。人は同時に多くの場所にいることができます；残念なことに人間はLifeを非常にちっぽけなものにしており、神についても同じです。

　この地球上で神を本来の姿、意味で崇拝している人は誰もいません。残念ながら、私たちはヘブンを自分達が理解できるレベルに下げて考えていますが、そうすべきではありません。神は全てであり、神は全ての原因であり、神の中に全てはあるのです。しかし同時に私たちは内側に神がいるのです。それはつまり私たちの内側には全てがあるということです。

Q：神は何も必要とせず、起きること全ては人間のためであり、また私たちは神の一部分であり、神もまた私たちの部分であると言うなら、進化・成長していく意味とは何なのですか？

K：はい、私たちの内側のスパーク、それは神ですが、それは何も必要としません。しかし現在のパーソナリティーは神からのものを現わしていません。現在のパーソナリティーはLifeの現れではなく、それはLifeの現象の現れであり、そして進化成長の結果として、つまりLifeそれ自体からより多くを現わすにつれて、影はその影を創造したもの、つまりLifeのスパークにより多く近づいていきます…もはや私たちに影の部分がなくなるまで。

　現在のパーソナリティーはLifeの現象であり、それはLifeそれ自体ではなく、アイコンです。ある教会では、私たちは神のアイコンであり、また似姿であると言っています；私たちはこのアイコンを打ち破り、その似姿がLifeの真の現れとなるようにすべきです；これが真剣な探求者の目的です。

　これを達成するためには、私たちは他の同胞の人間達に向けてより役立つようになるべきです…それらの人々が私たちに向けて何を現していても。

　通常、私たちが助けようとすると、他人からの憎しみに直面することがあります。なぜなら彼等は私たちの動機を理解しないからです；その現在のパーソナリティーの無知の結果として、あなた方は攻撃を受けるかもしれません。それでも、それらの人々は私たちからのより多くの注意と助けを必要としているのです…なぜなら私たちはそのような人々の態度を一つの病気とみなすからです。

　そのような人々が悪い現れを示すからといって、その人を害することはしません；良い医師は病気を治すためにその人を殺すことはせず、その人を助けるために病気を殺そうとします。それが私たちがエレブナにおいて助けようとしていることです。同胞の人間である兄弟・姉妹たちに対してより多くの助けを差し伸べるのです。

Q：地球全体が自己実現に到達する前に私たちがこの惑星を破壊してしまうと、どうなるのですか？

Page6

K：そのようなことは起きないでしょう。Lifeは続くでしょう。何が起きても、たとえ現象的に私たちがそのようなことを起こしても、それは私たちが体験し､レッスンを受けるためであり、そしてまた前進します。人間が何を経験しても、それは人間がそこから何かを学び、前進するためです。

　物質的現象を管轄している惑星ロゴスは、この地球という諸世界の人間一人一人に絶えず同調しています。私たち人間が物質界にいようともサイコノエティカル界の特定のレベルにいようとも。そして何であれその個人にとってベストなことを与えています。それがLifeなのです；私はただ口先だけのことを言っているのではなく、これは事実です。

Q：動き・振動・波動に関する質問についてですが；火山と言うアイディアに関係して心をよぎりました…火山はまず振動があり、その後に波動が生じ、そして活動、動きという結果となりあます。

K：はい、振動は全ての方向からであると言えます。一つの振動だけではなく、波動は２つの方向かもしれず、そして動きは特定されます。

　勿論、動き・活動はあらゆる所にあり、Lifeがないと私たちがみなすものにもあります。さもないとそれは存在しないことになります；全ての内側には動き、活動があり、ある“もの”においては振動は波動より大きいかもしれません。

　レッスンで説明したように、これは創造のセルであり、これは最大のなかでのことであり、それが最大のものに“形”を与えます。しかし、それはまた最小の中のことでもあります。この構造なくしては、何も存在しません；私たちが非常に小さいとみなす物質の原子ですら、この創造のセルゆえに存在することができるのです。たしかに、電子が存在しますが、それら全ての背後にはこれがあるのです。

　創造のセルに関して、ある神秘家達は、初期の時代においても、この事実を知っていました。そしてその後、古代ギリシャの神秘家達はそれをベースにして、オリンパスの12の神々という信念、考えを生み出しました。それが生命の木であり、この創造のセルです。

　後になって勿論、それは他の大陸にも広がり、パワーと能力を得るためにこれを使用した信念､考えもあります。このような状況において、五芒星は上下逆さまになっていることがわかりました、つまり現在のパーソナリティーはその影の五感を使っているということです。

　残念ながら、人間はLifeからより多くを現すために気づきのレベルを高めようとする代わりに、現象を求めてパワーと能力を現すことに興味を抱いています。これは大いに間違っています。パワーと能力はLifeの本質の結果であるべきで、現象のために及び他の人間を魅惑させるためにそれを求めるべきではありません。許されている唯一の現象は同胞の人間を助けるために行う霊的なヒーリング、物質化と非物質化という現象です。そして勿論、不可視のヘルパーが行う他の現象は他人に見せるためではなく､あなた自身も姿が見えないようになるのです。

　細胞ではなく原子ですら存在するためにこの構造をもっており、その構造の故に非常に大きなパワーがあります。それはその中にLifeがあり、それ故にその存在を維持している調和に手を下すと、それと同じようなパワーをもたらすことができます。その結果、そのように小さな原子から原子爆弾を得ることができるのです。

　一つの原子ですらそのようなパワーがあります；ですから現代の原子爆弾は非常に巨大なものです！あなた方はそれをブリーフケースの中に入れることもでき、また入れ物としてそれすらも大き過ぎるかもしれません。アインシュタインですら止めました。なぜなら人間はそれを保持する準備ができていないと認めたからであり、彼はそのような知識を世界にもたらしたことを後悔したかもしれません。

たとえ肯定的な動機を持っている人でも、その人がいつまで肯定的な姿勢を保持するかはわかりません。マジックのテクニックは一つです…あなたがそれをホワイトマジック、ブラックマジック、あるいは茶色のマジック、その他何と呼ぼうとも；違いをもたらすのは意図と動機です。そうです、マジックは過去に実践されました；それは人間に必要な経験すら与えましたが、もはや今は違います。私たちは何が真の価値であり、何はそうではないかを知るべきです。初めは肯定的な良い動機からスタートしたにもかかわらず、最終的には多くの破壊がもたらされたケースが多々あります。しかし今私たちは、小さなエゴの危険性を避けて進むためには気づきを高める必要がある、ということを理解しています。

EREVNA KG08L12/705